

## 事業概略書

事業名	事業の検証と家族支援の今後の方向性について
事業目的	発達障害児（者）の支援について整備されている中で、家族支援も有効な支援メニューであると考えている。しかし制度的には具体的な位置づけはなく、全国的に実施されるよう普及していくことが望ましい。そこで、全国の自治体や発達障害支社支援センターに対して調査を行い、家族支援の現状と課題、今後の取り組みについて把握するとともに、普及のための支援者向けの研修プログラムを実行しながら、その内容について検討し、家族支援のあるべき姿と効果的な実施方法を明らかにする。
事業概要	<p>1) 調査</p> <p>○自治体へのアンケート（悉皆調査）：自治体の子育て支援体制実態、ペアトレの実施、その他家族支援に関するメニューの実施状況や課題のための調査を実施した。</p> <p>○発達障害者支援センターへのアンケート（悉皆調査）：家族支援体制に対する事業や他の市町村への普及方法等に関する調査を実施した。</p> <p>○ペアレント・メンターへのアンケート：ペアレント・メンター養成講習のフォローアップまで修了している人を中心に調査を実施し、メンターの背景、活動状況、メンター事業に対する達成度、課題、ストレス度などを確認した。</p> <p>2) 検証と実践 発達障害だけでなく、幅広い年代の家族支援について検証を行うため、下記の有識者による①の結果の評価分析を行い、家族支援のあるべき姿を明確化する。また、複数の自治体において、新たな家族支援プログラムとしてペアレントプログラムの内容について実施と研修を来ない、導入を試行し実施方法や普及方法に関する課題を把握した。</p>
事業実施結果及び効果	自治体へのアンケートなどにより、発達支援の現場における家族支援プログラムへのニーズの高さ、家族支援で困難を抱える現状が明らかになった。家族支援の具体的な手法としてあげられるペアレントメンターやペアレントトレーニングの活動状況やプログラム内容が統合的に整理できた。ペアレントトレーニングに関しては、精研式・奈良方式・肥前式等の各種のペアトレが、共有できる基礎部分を構築しながら、難易度や習熟度や障害特性に合わせて階層的に整理した。ペアレントトレーニングの有効性が実証的に示されるとともに、スタッフ養成や全国的な普及にむけてはペアレントトレーニングよりもより簡易で敷居の低い入門編として、新たなペアレントプログラムを開発した。ペアレントプログラムに関しては、全国3カ所で試験的に実施の上、実施・運営面などの問題点や有効性を整理し、マニュアルを作成した。
事業主体	〒452-0821 愛知県名古屋市西区上小田井2丁目187番地メゾッドボネー小田井201号室 特定非営利活動法人 アスペ・エルデの会 TEL：052-505-5000 E-MAIL：info@as-japan.jp

(注) 1 本様式の作成にあたっては、厚生労働省ホームページに掲載するため、一般に公開することを想定し、分かりやすい表現に努めること。

2 本様式は、事業の概略をまとめるために作成するものであり、別途実施した事業についての成果物を必ず提出すること。